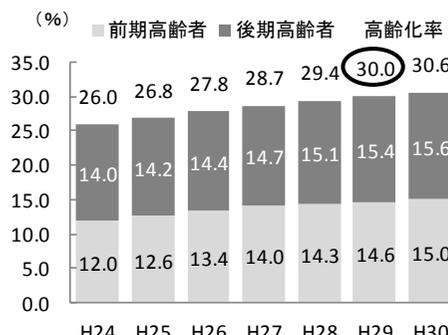
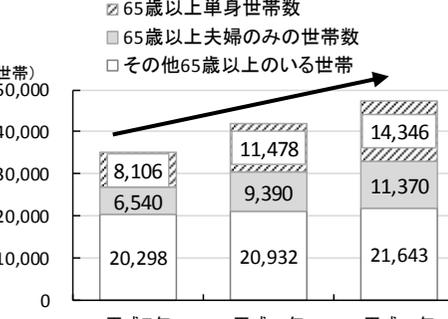


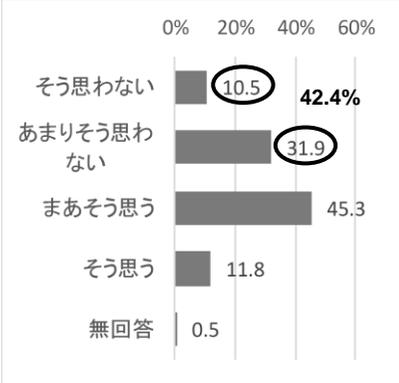
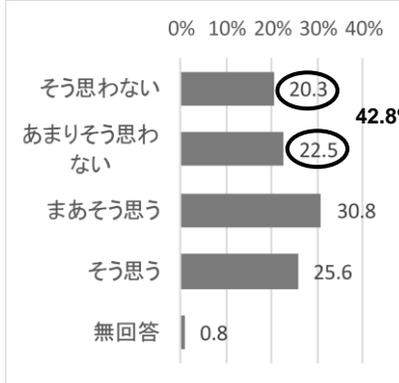
佐世保市地域福祉計画・活動計画に係る
課題整理表

○各項目は計画策定ガイドライン必須記載項目に準じています。

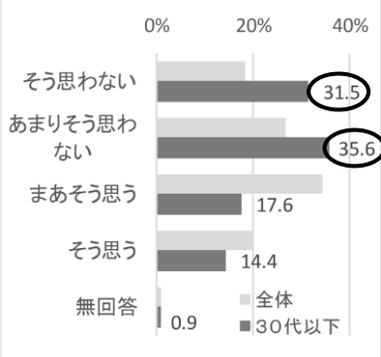
○「統計、アンケート等」は各種統計データからの把握や『佐世保市地域福祉推進に関する報告書（平成29年度実施）』の結果から抜粋。

「関連計画」は表左端内に記載のある計画に記載の課題から抜粋。「第2期計画評価資料」は第2期計画評価から抜粋。

	統計、アンケート等	関連計画	第2期計画評価資料																																																				
<p>①各福祉分野に共通して取り組むべきこと</p> <p>関連計画</p> <p>※高齢者： 老人福祉計画・介護保険事業計画</p> <p>※障がい者： 佐世保市障がい者プラン 佐世保市障がい福祉計画・佐世保市障がい児福祉計画</p> <p>※コミュニティ： 地域コミュニティ推進計画</p> <p>※子ども： させぼっ子未来プラン</p>	<p>○平成29年に高齢化率が30.0%を超え、高齢化が進行している</p>  <table border="1"> <caption>高齢化率推移 (H24-H30)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>前期高齢者 (%)</th> <th>後期高齢者 (%)</th> <th>高齢化率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>14.0</td><td>12.0</td><td>26.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>14.2</td><td>12.6</td><td>26.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>14.4</td><td>13.4</td><td>27.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>14.7</td><td>14.0</td><td>28.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>15.1</td><td>14.3</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>15.4</td><td>14.6</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>15.6</td><td>15.0</td><td>30.6</td></tr> </tbody> </table> <p>○離島部で特に高齢化率が高くなっている (50%台 H29)</p> <p>○一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している</p>  <table border="1"> <caption>高齢者世帯数推移 (平成7年-平成27年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>65歳以上単身世帯数</th> <th>65歳以上夫婦のみの世帯数</th> <th>その他65歳以上のいる世帯</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成7年</td><td>8,106</td><td>6,540</td><td>20,298</td><td>34,944</td></tr> <tr><td>平成17年</td><td>11,478</td><td>9,390</td><td>20,932</td><td>41,800</td></tr> <tr><td>平成27年</td><td>14,346</td><td>11,370</td><td>21,643</td><td>47,359</td></tr> </tbody> </table>	年度	前期高齢者 (%)	後期高齢者 (%)	高齢化率 (%)	H24	14.0	12.0	26.0	H25	14.2	12.6	26.8	H26	14.4	13.4	27.8	H27	14.7	14.0	28.7	H28	15.1	14.3	29.4	H29	15.4	14.6	30.0	H30	15.6	15.0	30.6	年度	65歳以上単身世帯数	65歳以上夫婦のみの世帯数	その他65歳以上のいる世帯	合計	平成7年	8,106	6,540	20,298	34,944	平成17年	11,478	9,390	20,932	41,800	平成27年	14,346	11,370	21,643	47,359	<p>高齢者</p> <p>○介護・医療双方のニーズの増大・多様化に対応するための医療と介護の連携が必要</p> <p>障がい者</p> <p>○施設で生活している知的障がいのある人の「障がい者に適した住宅の確保」へのニーズが比較的高くなっている</p> <p>○65歳での介護保険サービスへの移行に戸惑う人が多い</p> <p>○障がいのある人の就労環境の整備、障がい者雇用の推進が必要</p>	<p>○社会福祉法人が所有する施設のスペースが提供され、様々な地域共生サロンが実施されてきており、今後、取り組み内容を広報、周知するなどして、他法人での実施を促進することが必要</p> <p>○地域共生サロンといきいきサロンとの違いや位置づけなどについて、整理が必要</p>
年度	前期高齢者 (%)	後期高齢者 (%)	高齢化率 (%)																																																				
H24	14.0	12.0	26.0																																																				
H25	14.2	12.6	26.8																																																				
H26	14.4	13.4	27.8																																																				
H27	14.7	14.0	28.7																																																				
H28	15.1	14.3	29.4																																																				
H29	15.4	14.6	30.0																																																				
H30	15.6	15.0	30.6																																																				
年度	65歳以上単身世帯数	65歳以上夫婦のみの世帯数	その他65歳以上のいる世帯	合計																																																			
平成7年	8,106	6,540	20,298	34,944																																																			
平成17年	11,478	9,390	20,932	41,800																																																			
平成27年	14,346	11,370	21,643	47,359																																																			

	統計、アンケート等	関連計画	第2期計画評価資料												
<p>②福祉サービスの適切な利用の促進</p>	<p>○地域の情報が十分に入ってくると思っていない人が約4割 30歳代以下では5割以上</p>  <table border="1"> <caption>地域情報の十分さに関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思わない</td> <td>42.4%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>31.9%</td> </tr> <tr> <td>まあそう思う</td> <td>10.5%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	そう思わない	42.4%	あまりそう思わない	31.9%	まあそう思う	10.5%	そう思う	11.8%	無回答	0.5%	<p>高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○傾斜地に住宅地が形成されているため、高齢者の移動が困難 ○家族が仕事や介護、家庭問題等で強いストレスを感じている ○高齢者の消費者トラブルや虐待を受けている高齢者が増加傾向 ○本人だけでなく、本人を取り巻く関係者に対してもわかりやすい情報提供が必要 ○離島に対する福祉サービスの充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃の見守り活動や災害時の支援には、地域住民や関係機関の連携が必要 ○民生委員の活動時の声掛けや町内会への声掛け要請等、避難行動要支援者名簿への登録促進のさらなる推進が必要 ○福祉避難所について、対象者に対する周知方法や、避難所における対象者への配慮等について検討が必要
	回答	割合													
そう思わない	42.4%														
あまりそう思わない	31.9%														
まあそう思う	10.5%														
そう思う	11.8%														
無回答	0.5%														
<p>○地域に家族以外で相談できる人がいると思っていない人が約4割</p>  <table border="1"> <caption>家族以外での相談できる人の有無に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思わない</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>まあそう思う</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	そう思わない	42.8%	あまりそう思わない	22.5%	まあそう思う	20.3%	そう思う	25.6%	無回答	0.8%	<p>子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○核家族化や地域社会の人間関係の希薄化、両親の就労等により妊婦が孤立してしまう環境になりやすい社会 ○子育てへの負担と育児不安の軽減に向けた様々な取り組みを実施しているものの、依然として児童虐待の事例は発生しており、虐待の未然防止強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の保健・福祉の社会資源情報を一元的に集約し、インターネット上で公開している「福祉情報ガイド」について、利用が進んでいないため、専門職や関係機関への周知の強化や、検索のしやすさ、ニーズに合った内容の掲載等、改善が必要 	
回答	割合														
そう思わない	42.8%														
あまりそう思わない	22.5%														
まあそう思う	20.3%														
そう思う	25.6%														
無回答	0.8%														

	統計、アンケート等	関連計画	第2期計画評価資料												
③社会福祉を目的とする事業の健全な発達	<p>○交通手段が良くないと感じている人が5割弱</p> <table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>良い</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>まあ良い</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>やや悪い</td><td>23.6</td></tr> <tr><td>悪い</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.4</td></tr> </table>	評価	割合	良い	21.7	まあ良い	30.3	やや悪い	23.6	悪い	23.1	無回答	1.4	<p>○介護人材不足の深刻化と福祉サービス従事者の離職率の高まり</p> <p>○一人暮らしや認知症の高齢者が増加するため、それぞれのニーズに合った施設整備が必要</p>	<p>○生活困窮者等早期に発見できるような地域住民相互の支えあいの仕組みづくりとそれを支援する体制づくりが必要</p> <p>○福祉人材バンクの利活用促進に努めたが、参加数、就職者数の増加にはつながっていないため、求職者のニーズに合わせた求人の開拓とともに、就職後の訪問や電話での状況確認等により、早期離職の防止にも努めることが必要</p>
	評価	割合													
	良い	21.7													
まあ良い	30.3														
やや悪い	23.6														
悪い	23.1														
無回答	1.4														
<p>○買物の便利さが良くないと感じている人が約4割</p> <table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>良い</td><td>23.6</td></tr> <tr><td>まあ良い</td><td>33.0</td></tr> <tr><td>やや悪い</td><td>22.0</td></tr> <tr><td>悪い</td><td>20.1</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.2</td></tr> </table>	評価	割合	良い	23.6	まあ良い	33.0	やや悪い	22.0	悪い	20.1	無回答	1.2	<p>○同行援護を引き受けてくれる事業所が少ないため、利用しにくく頼みづらい</p>		
評価	割合														
良い	23.6														
まあ良い	33.0														
やや悪い	22.0														
悪い	20.1														
無回答	1.2														
<p>○未就学児への幼児教育・保育の質のさらなる向上が求められている</p>	<p>○未就学児への幼児教育・保育の質のさらなる向上が求められている</p>														

	統計、アンケート等	関連計画	第2期計画評価資料																		
④地域福祉活動への住民の参加の促進	<p>○「地域で困りごとを抱えている人の手助けをしたいと思うか」で「そう思う」と答えた人が約2割</p> <p>○30歳代以下では地域活動への参加機会があると思っていない人が約7割</p>  <table border="1" data-bbox="591 555 972 912"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>全体 (%)</th> <th>30代以下 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思わない</td> <td>31.5</td> <td>35.6</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>35.6</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td>まあそう思う</td> <td>17.6</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>14.4</td> <td>17.6</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>67.1%</p> <p>○30歳代以下の人が地域で活動していない理由は主に「時間がないから」「活動の内容や方法がわからないから」「一緒に活動する仲間がないから」</p>	回答	全体 (%)	30代以下 (%)	そう思わない	31.5	35.6	あまりそう思わない	35.6	31.5	まあそう思う	17.6	14.4	そう思う	14.4	17.6	無回答	0.9	0.9	<p>コミュニティ</p> <p>○町内会への加入率が5年で2ポイント減少しており、今後もその傾向が続くと予測される</p> <p>○高齢者で地域活動に「参加していない」人の割合が約5割</p> <p>障がい者</p> <p>○病院または福祉施設で暮らしている知的障がい、精神障がいのある人では「地域住民等の理解」が進んでいないと感じている人が多く、就労支援についても必要な支援として、「職場の障がい者理解」を挙げる人が多い</p>	<p>第2期計画評価資料</p> <p>○ボランティアをしたい人と活動の場のマッチングが不十分</p> <p>○ふくし教育の成果が見えにくい</p> <p>○福祉活動プラザによる福祉系団体の活動支援については、チラシの配布による団体の活動周知等にとどまっており、より効果的な支援の検討が必要</p> <p>○地域福祉講演会について、若い世代への参加を呼びかけたが、参加にはつながらなかったため、対象に合わせた参加しやすい時期や時間帯での開催など検討が必要</p>
	回答	全体 (%)	30代以下 (%)																		
そう思わない	31.5	35.6																			
あまりそう思わない	35.6	31.5																			
まあそう思う	17.6	14.4																			
そう思う	14.4	17.6																			
無回答	0.9	0.9																			

	統計、アンケート等	関連計画	第2期計画評価資料																
⑤ 包括的な支援体制の整備	<p>○ 地域の人がお互いに信頼できると思わない人が全体の約3割</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>6.4</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>27.3</td></tr> <tr><td>まあそう思う</td><td>50.0</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>15.4</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.0</td></tr> </table>	回答	割合	そう思わない	6.4	あまりそう思わない	27.3	まあそう思う	50.0	そう思う	15.4	無回答	1.0	<p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会や地区自治協議会では役員の成り手がいないという意見が多い ○ 町内会や地区自治協議会では業務量が多すぎるという意見が出ている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区自治協議会や福祉推進協議会などの地域団体等のあり方の整理・調整が必要 				
	回答	割合																	
	そう思わない	6.4																	
あまりそう思わない	27.3																		
まあそう思う	50.0																		
そう思う	15.4																		
無回答	1.0																		
<p>○ 経済的に困っている人では身近な相談相手がいると思わない人が約5割と高い</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>全体 (%)</th><th>経済的困窮者 (%)</th></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>38.8</td><td>14.0</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>52.8</td><td>19.0</td></tr> <tr><td>まあそう思う</td><td>28.1</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>19.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </table>	回答	全体 (%)	経済的困窮者 (%)	そう思わない	38.8	14.0	あまりそう思わない	52.8	19.0	まあそう思う	28.1	0.0	そう思う	19.0	0.0	無回答	0.0	0.0	<p>高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括支援センターの増設による相談件数の増加、相談内容の多様化・複雑化 ○ 民生委員や町内会、老人会及び社会福祉協議会等と地域での見守りネットワークや地域資源を開発する等、地域で支え合う体制づくりが必要
回答	全体 (%)	経済的困窮者 (%)																	
そう思わない	38.8	14.0																	
あまりそう思わない	52.8	19.0																	
まあそう思う	28.1	0.0																	
そう思う	19.0	0.0																	
無回答	0.0	0.0																	
<p>障がい者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライフステージ、障がいに応じた切れ目ない相談・サービスを受けられるような支援体制が必要 																		

整理表から見える課題に対する総括

- ✓ 全国的な潮流に合わせ、佐世保市においても、世帯の小規模化が進んでおり、そのような中では、高齢者の孤立化、子育て中の保護者の孤立化など、地域から孤立し、だれにも相談できないことで、状況が悪化していくことも考えられます。市民アンケートの結果では地域に家族以外で相談できる人がいないと思っている人が約4割もいます。そのため、相談しやすい環境づくりを進めることが必要です。また、相談したいと思えるよう、相談を確実に受け止め、改善につなげていける体制づくりを進めることも考えられます。
- ✓ 市民アンケートの結果では、地域の情報が十分に入ってくると思っていない人が約4割で、特に30歳代以下では5割以上となっています。多様な地域課題を解決していくためには、相談支援の充実とともに、情報提供の強化が求められます。情報提供においては、例えば仕事と介護の両立で強いストレスを感じている家族もいるため、支援が必要な当人だけでなく、その周囲の関係者にもわかりやすく行うことが必要です。

課題解決のために必要なこと ⇒ **地域の課題把握・解決のための仕組みづくり**

- ✓ 障がい福祉分野での意見として、「障がいのある人の就労環境の整備、障がい者雇用の推進が必要」「同行援護を引き受けてくれる事業所が少ないため、利用しにくく頼みづらい」、高齢者福祉分野では「高齢者の消費者トラブルや虐待を受けている高齢者が増加傾向」といった課題が挙がっており、生活の自立につながる支援に不足している部分があることが考えられます。
- ✓ 現行計画の評価結果から「災害時避難行動要支援者システムの活用や情報の共有手法の充実が必要」といった課題が出てきており、災害時や緊急時における、支援が必要な人への迅速な対応を可能とする体制の整備が求められます。

課題解決のために必要なこと ⇒ **自立した生活を支える福祉サービスの展開**

- ✓ 町内会への加入率の減少が続いており、今後も同様の傾向が予測されるなか、ボランティアについても、ボランティアしたい人と活動の場のマッチングが不十分であるなど、地域における活動の活性化につながっていません。
- ✓ 30歳代以下の方が地域で活動していない理由は主に「時間がないから」「活動の内容や方法がわからないから」「一緒に活動する仲間がないから」となっており、これらの阻害要因をなくしていくため、ボランティアセンターなどを中心に、ボランティア活動を支援する体制づくりが求められます。
- ✓ 市民アンケート結果から、「地域への愛着はあるが、地域への貢献という意識までは無い人が多い」ことや「地域で困りごとを抱えている人の手助けをしたい人が約2割」であるなど、福祉意識や支援を実施する意識のない人が多いことがわかります。支援が必要な人であっても共に生きていくまちにしていくためにも、福祉教育等意識づくりの強化・充実とともに、地域のリーダーとなる人材の育成も求められます。

課題解決のために必要なこと ⇒ **地域における福祉活動の充実と人材育成**